

第653回

九州朝日放送番組審議会議事録

—— 2023年5月度 ——

◇ 開催日

2023年5月15日(月)

◇ 議題

<テレビ番組>

民放連盟賞テレビ教養番組部門出品作品

「アサデス。KBC ド・ローカル議会

統一地方選挙直前スペシャル」

放送日時：4月7日(金) 25：15～26：15

◇ その他

九州朝日放送株式会社

第653回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 2023年5月15日(月)午後3時25分～4時15分

2. 開催場所 九州朝日放送 本社7階A会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 7名

委員長	石井靖子
副委員長	藤村まこと
委員	中山裕二
委員	丸石伸一
委員	田川真司
委員	山根久資
委員	副田智幸

欠席委員数 1名

委員	上野恵梨奈
----	-------

放送事業者側出席者名

代表取締役社長	森君夫
執行役員 総合編成局長	木附ゆかり
執行役員 報道情報局長	柴田高宏
報道情報局 報道情報センター長	西村香織
報道情報局 報道情報センター 番組プロデューサー	良永晋也
報道情報局 報道情報センター 番組ディレクター	山下賢人
番組審議会事務局長兼視聴者・広報室長	吉岡実
番組審議会事務局 (視聴者・広報室)	松永俊郎

4. 議題

(1) テレビ番組

民放連盟賞テレビ教養番組部門出品作品

「アサデス。KBC ド・ローカル議会 統一地方選挙直前スペシャル」

放送日時：4月7日(金) 25：15～26：15

(2) 5月・6月 ラジオ・テレビ番組編成状況の報告

(3) 4月 視聴者・聴取者応答状況の報告

(4) その他

5. 議事の概要

委員の意見（概要）

委員からは、

- 統一地方選挙の投開票日を前に時宜にあう内容で、地方議会や議員の役割や活動が分かりやすく伝えられていた。いろんな面に焦点が当てられ、テンポが良く内容も充実していた。
- 議会の数や議員の人数など政治に関心がない人も興味が沸くよう工夫されていた。一般質問や行政監視、市民に伝える機能など、地方議会の議員の仕事がよく理解できた。
- 議員の給与を取り上げ、地方の担い手不足や無投票当選という課題を浮き彫りにしたのは良かった。戸別訪問の問題など、グレーな部分もしっかり取り上げている点も高く評価できる。
- 普段あまり見ることがない地方議員の活動を見られて良かった。議員が普段から何をやっているのか全体イメージをつかむことができた。
- 議員の活動とは普段からこんなにも忙しいものなのかと驚いた。投票率の低下が懸念されるが、こうした活動を普段から見ることができれば、投票率の改善につながるのではないか。
- 議場から伝えるスタイルは臨場感が伝わり良かった。KBC宮本啓丞アナウンサーの問いかけに、朝日新聞の林尚行政治部長が丁寧に分かりやすく回答・説明する方法も良かった。
- 選挙や政治に詳しくない人を想定したクイズ形式やインタビューを交えた進行は分かりやすかった。構成の良さが光っていた。
- 「政治は苦手」という若い世代の代表としてお天気アシスタントの山下七子さんをゲストに招き、素朴な疑問を引き出し、地味でとっつきにくいテーマを幅広い層に伝えようとする工夫を感じた。若年層の教育ツールとしても活用可能な番組だ。
- 他局を含め、地方議会に着目した番組はあまり見たことがない。地元の放送局が地元の有権者のニーズに応えるという意味で大変良い企画。継続して放送して欲しい。

などの評価を頂きました。

一方、気になる点や望むこととして、

- いろいろなテーマを詰め込みすぎて、焦点が絞れていないという印象を抱いた。議論が深まらず、未消化で終わった感じがした。もっと掘り下げて課題提議して欲しかった。

- 担い手不足や低投票率という課題の解決策につながるヒントとして、有権者の要望を紹介するなどして欲しかった。
- 無投票当選の問題に対して先進的な取り組みがあれば取材して欲しかった。また、DXを活用した選挙活動や投票方法を検証し提案するなどしてもよかった。
- 有権者の声はMCやゲストが「代弁」するのみで、「ド・ローカル」ぶりを有権者がどう見ているのかが分からなかった。
- 放送時間が気になった。土日の昼間に放送すれば、幅広い世代で見られたのではないか。
- 議員活動を紹介する番組で「怪文書」は不要だった。
- 日本の投票率の低さの背景にはマスメディアの選挙や政治に関するニュースや番組の少なさがある。選挙の間中は制約があるのなら、平時に有権者の学びの機会や政治に対する関心を提供するよう改善して欲しい。

などの批評や提言を頂きました。

これらに対して、制作担当者からは、

- 本作は約1年間「アサデス。KBC」の特集「ド・ローカル議会」を集大成としてまとめたもの。地方議会について（時には「怪文書」など）視聴者の関心が高い話題を幅広く扱った。裏返しとして詰め込みすぎ感を与えてしまった。手広く散漫になってしまった。
- 一番呼びかけたかったことは「選挙に行って欲しい」ということ。選挙の大切さを訴え、地方議会を知ってもらうため、関心が薄い人にどうアプローチするかに注力した。
- 地方議会をテーマとする番組（コーナー）で、本作ほどローカル目線で扱うものはあまり見かけないが、短い制作期間で課題の掘り下げや多様な意見の盛り込みが不十分だった点は改善に努めたい。
- 放送時間は全社的な調整で決められる。若年層をターゲットにした場合に金曜深夜はそれほど悪い枠ではない。放送時間を考慮してPR等を展開したが、選挙の内容だけに若年層の視聴率という面では苦戦した。
- 「ド・ローカル議会」制作にあたり、今回の統一地方選挙に関係ある自治体は一切取り扱わないようにした。あくまでも議員個人の活動に焦点を当て、特定の会派や政党が利することがないように細心の注意を払った。
- 公示・告示以降は公平公正を期すために慎重に報道する必要がある。しかし、平時は民主主義の根幹である選挙についてしっかりと伝え、有権者の投票行動に結び付ける役割が放送局にはある。KBCは今後も選挙報道、政治報道を工夫して、地元（ローカル）でやれることをやり、有権者の関心を高め、投票率の改善に寄与したい。

などの説明をしました。